

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI



小学校と防災福祉コミュニティが連携した津波避難訓練

神戸市立明親小学校教諭
山田 寛人

平成23年9月13日、神戸市立明親小学校において、東南海・南海地震を想定した津波避難訓練を実施しました。

この訓練は、東日本大震災における津波被害を踏まえ、本校においても津波が襲来した際に児童を安全に避難させることを目的として、明親校区防災福祉コミュニティの皆さん及び兵庫消防署の支援のもとおこなわれました。

●訓練の内容

本校では地震発生後、児童を校庭に避難させ、教職員により校舎の安全確認をおこなった後、児童を校舎の2階以上に再避難させる計画でしたが、兵庫県が公表した、現行の津波予測値の2倍の高さ（兵庫区の最大高さ4.2m）を想定して、全児童を校舎の3階以上に再避難させる計画に本年度から変更しました。

なお、この訓練では教職員が地震発生から避難完了までの時間測定をおこない、訓練終了後、その結果をもとに明親防コミ及び兵庫消防署にも参加いただいて検討会を開催しました。

●訓練の課題

検討会では、明親防コミや兵庫消防署の方から、停電時のことを考慮し拡声器などの資器材を準備しておくことや、避難の際には座布団などの身近なもので頭部を守りながら避難することなどのアドバイスをいただきました。

また、津波襲来時には、本校に地域の皆さんが避難される可能性があることから、避難スペースの確保について検討しておく必要があることを認識しました。

●訓練の成果

この訓練の成果として、全児童が短時間で避難を完了できたことが挙げられます。これは、明親防コミの方が避難の補助をくださったこと、教職員の的確な指示があったことで、大きな混乱もなく避難することができたのではないかと思います。そして、何より子ども達が黙って真剣に訓練に取り組むことができたのが大きな成果につながりました。

●今後に向けて

本校の児童にはこれからも地域住民の皆さんと連携した防災訓練や防災学習を通じて、自分の命は自分で守ることの大切さを伝えていきたいと思っています。

また、今回の訓練での課題を反映した避難計画を策定し、災害に強い安全で安心な学校づくりを推進していきたいと考えています。

